

## 智頭線5市町村と智頭急行(株)との間の 「災害等発生時相互協力に関する協定」の調印式について

近年、全国的に地震やゲリラ豪雨などによる自然災害が多発しており、この度、智頭線沿線5市町村と智頭急行とは、自然災害等が発生した場合、相互に協力して被災者の救済や被害の早期復旧することについて協定書を締結することとなりました。

つきましては、下記のとおり協定書の調印式をご案内申し上げます。

### 記

1. 日 時 平成28年5月12日(木)午後3時00分～午後3時30分

2. 場 所 智頭急行株式会社 本社2階会議室

3. 出席者(予定)敬称略

兵庫県赤穂郡上郡町	上 郡 町 長	遠 山 寛
兵庫県佐用郡佐用町	佐用町副町長	坪内 頼男
岡山県美作市	美作市長	萩原 誠司
岡山県英田郡西粟倉村	西粟倉村長	青木 秀樹
鳥取県八頭郡智頭町	智頭町長	寺谷 誠一郎
智頭急行株式会社	代表取締役社長	岡村 俊作

(同 席)智頭急行安全対策連絡協議会構成員

(鳥取県東部広域行政管理組合消防局・美作市消防本部・西はりま消防組合  
・赤穂市消防本部)

4. 次 第

- (1)開 式
- (2)出席者紹介
- (3)調 印
- (4)写真撮影
- (5)挨 拶
- (6)閉 会

5. 協 定 書(相互協力の主な内容)

(市町村が智頭急行に対して行う主な協力内容)

- ・鉄道不通時の物資・復旧要員等の緊急輸送
- ・鉄道利用者の避難所としての自治体施設等の利用、食料、毛布、暖房等の提供
- ・災害対策等に係る資機材及び物資の提供 など

(智頭急行が市町村に対して行う主な協力内容)

- ・災害発生時における物資・避難住民等の緊急輸送
- ・住民の避難所としての鉄道施設等の利用、食料、毛布、暖房等の提供
- ・災害対策等に係る資機材及び物資の提供 など

6. 問い合わせ先 智頭急行株式会社 運輸部運転課 坂本 克之 電話:0858-75-2595

## 【参考】智頭急行の取り組み

### 1. 異常時対応訓練等

智頭急行では輸送の安全確保を最優先に全社一丸となって取り組んでいますが、自然災害や鉄道災害に備えた訓練を定期的を実施しています。

- ・トンネル内での列車火災を想定したお客さまの避難誘導訓練
- ・踏切事故や土砂流出に伴う鉄道災害を想定した総合事故対応訓練  
美作消防署との合同訓練(お客さまの救護、救出訓練)及び復旧訓練
- ・警察とのテロ対策合同訓練(平成 28 年 2 月 8 日、智頭警察署、鳥取県警本部)
- ・智頭急行安全対策連絡協議会(平成 28 年 1 月 22 日)  
沿線 4 消防本部(赤穂、西はりま、美作、鳥取東部)との合同会議

### 2. 災害時備蓄品等の配備(新規)

- ・水や乾パン、タブレット式ミルク、紙おむつ、充電器などを大原車両基地(岡山県美作市古町)と運輸部(鳥取県智頭町)に配備(平成 28 年 2 月)
- ・智頭駅と大原車両基地、上郡駅(兵庫県上郡町)の飲み物自販機を災害対応自販機に変更(平成 28 年 5 月中)

### 3. 沿線消防局・本部、消防署との連携

智頭急行と沿線 4 消防局・本部・消防署とは平成 25 年 4 月 1 日に「鉄道災害時の安全対策に関する覚書」を締結し、鉄道災害が発生した場合の相互連絡・協力体制を定め、迅速な消防活動及び公共機関としての鉄道の早期運転再開に取り組むこととしています。また、定期的に「智頭急行安全対策連絡協議会」を開催し、情報の共有化など連携を図っています。

### 4. 参考(平成 21 年 8 月台風 19 号による集中豪雨災害(佐用町))

集中豪雨のため夜 9 時半頃、佐用駅で進めなくなった普通列車内で乗客と水害のなか避難されてきた住民の皆さんが共に列車内で一晩を過ごされました。道路は冠水し通行できなく、線路伝いに弊社社員がパンやジュースを列車に運び込んで一緒に食べていただきました。

また、JR西日本からはずぶ濡れで列車に避難されてきた住民の方に乗務員用夜具(浴衣)を提供していただきました。